

地下空間に、私たちの命と暮らしを守る新しい水の流れ。

高尾川

平成26年8月22日の未明から朝方にかけての大雨により浸水等、甚大な被害を受けた高尾川流域。再びあのような被害が起きないよう、高尾川流域の安全・安心の確保のため、福岡県では「高尾川床上浸水対策特別緊急事業」を進めています。

特別緊急事業 床上浸水対策



高尾川の上下流の高低差を利用した地下河川

地下河川とは、ビルなどが密集する都市部において、河川の拡幅などによる物件の移転が困難な場合に、地下空間を利用して設置する人工の河川を言います。

床上浸水対策特別緊急事業とは

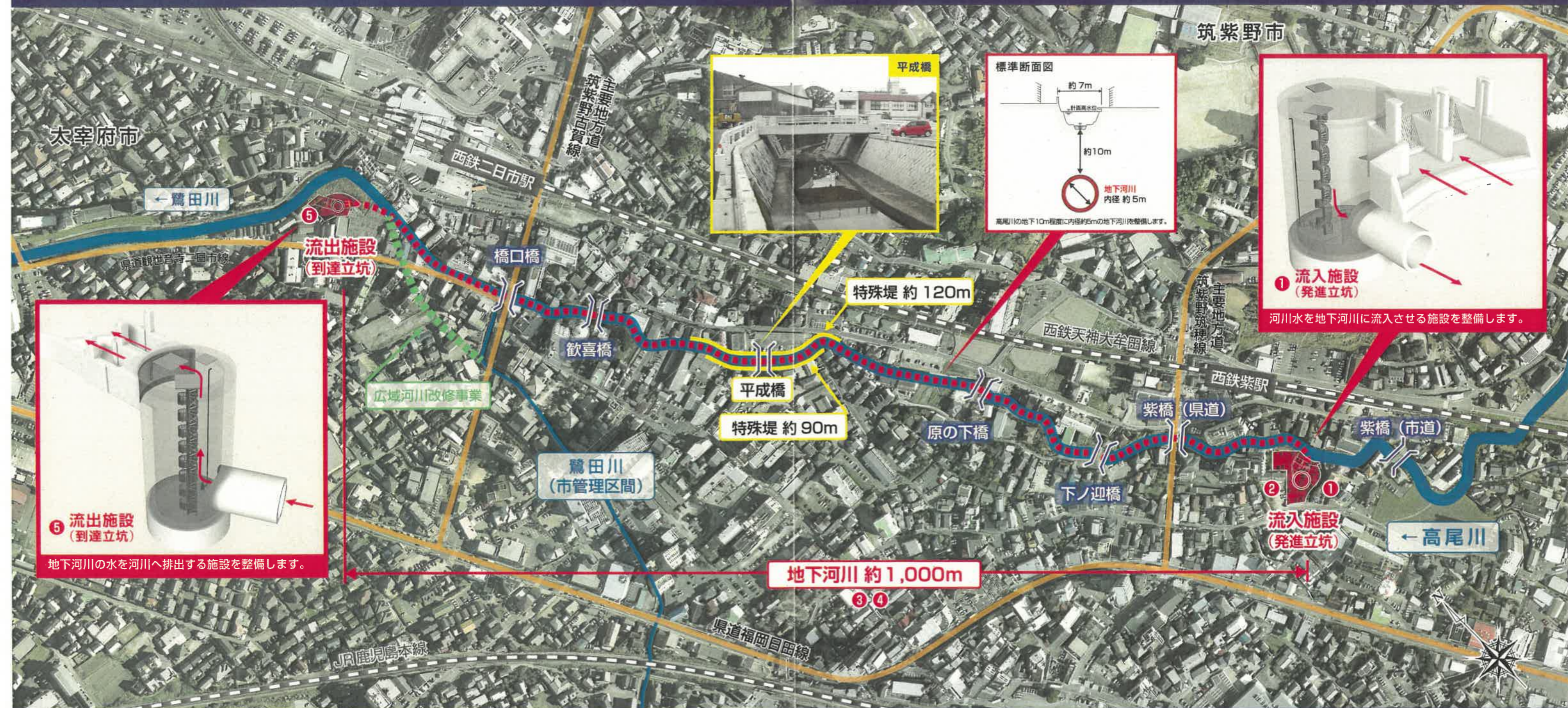
床上以上の浸水被害を受けると、業務場内がほとんど使用不能となり、通常生活への影響も甚大な労力を要し、経済的、身体的に大きな負担がかかります。そのため、このような床上浸水被害が発生している箇所において、概ね5年間に亘って事業を実施し、事業を行うことで、再度災害の被害を受けず、浸水被害の軽減を図るものです。



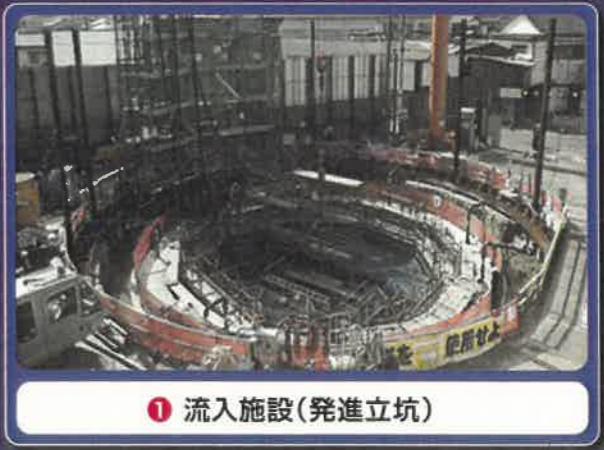
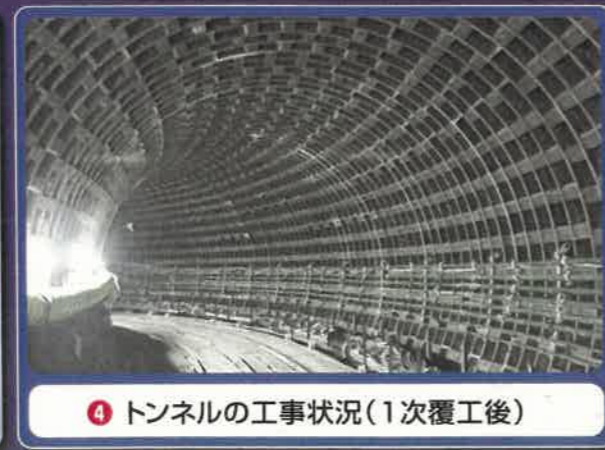
地下河川イメージ図

高尾川床上浸水対策特別緊急事業の実施方針

平成26年8月22日の大雨により生じた被害に対して、高尾川に地下河川を設置し、洪水の流れの阻害となっている橋の架替等を行うことで、安全な水の流れを確保し、家屋の床上浸水被害の解消を目指します。



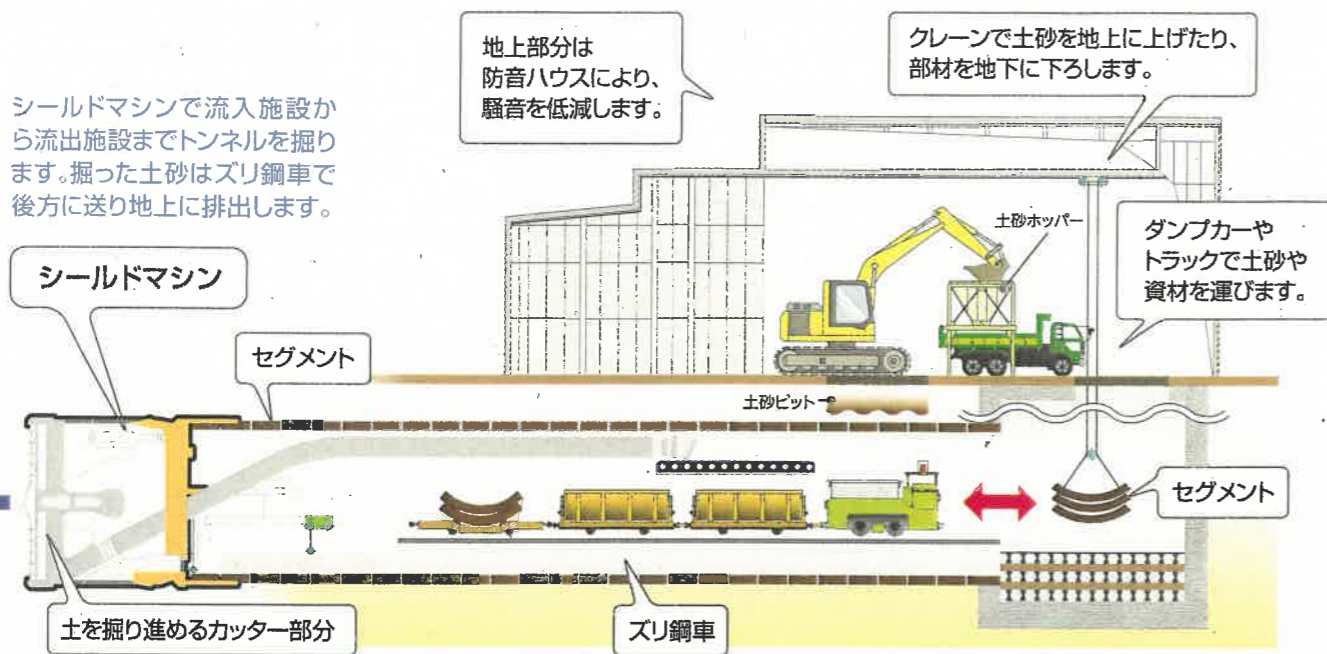
工事の進捗状況(2019年5月時点)



この地下河川は、直径5mのシールドトンネルを現況の河川の真下に約1kmにわたって設置します。このような工事は全国的にも例が少なく、曲率半径60m以下の急曲線が27箇所もあるため、高度な技術を要します。

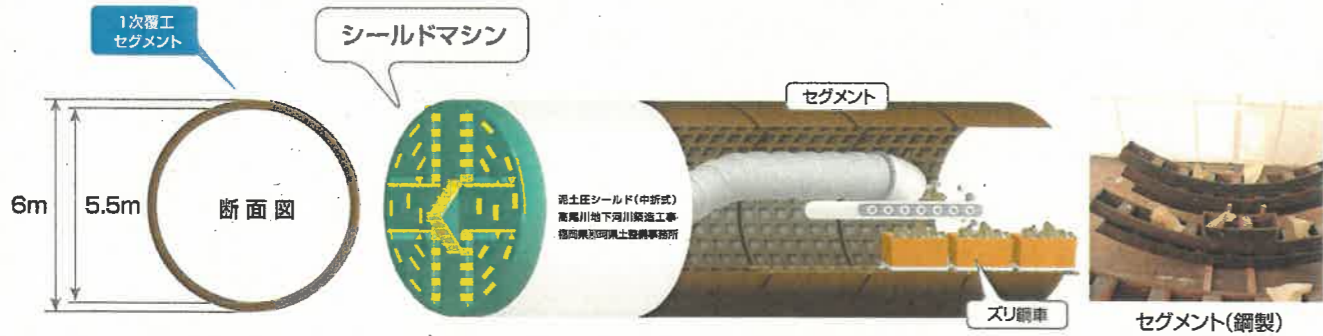
シールドマシンにより地中を掘り、「1次覆工」と「2次覆工」を行い、トンネルを造ります。

シールドマシンで流入施設から流出施設までトンネルを掘ります。掘った土砂はズリ鋼車で後方に送り地上に排出します。



1次覆工

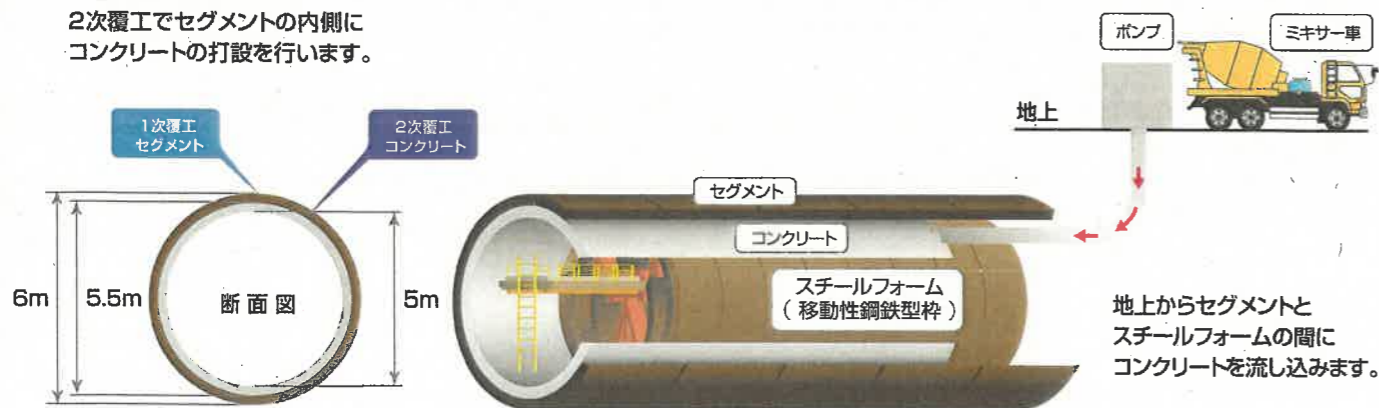
シールドマシンで掘ったトンネルが崩れないように、セグメントと呼ばれる資材を連結してトンネルの内側を覆い、トンネルの強度を確保します。



2次覆工

1次覆工完了後、セグメントの内側にスチールフォームと呼ばれる移動性鋼製型枠を設置し、セグメントとの間にコンクリートを流し込み、トンネルの内側を覆います。この作業を繰り返し行い、トンネル全体の耐久性を向上させます。

2次覆工でセグメントの内側にコンクリートの打設を行います。

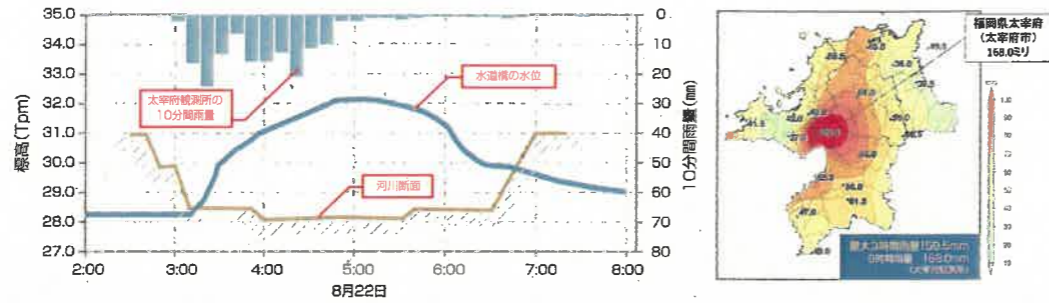


平成26年8月22日の気象・降雨概要と高尾川流域の被害状況

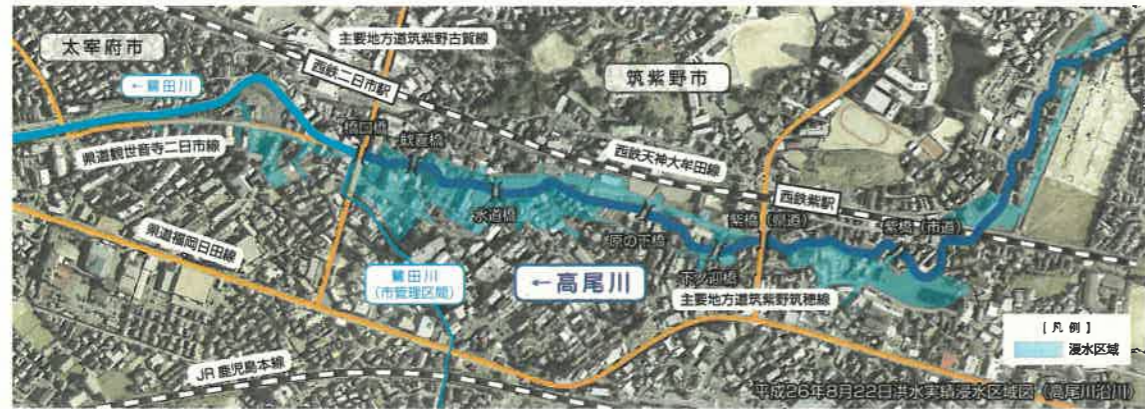
平成26年8月22日未明 8月としては、観測を始めて以来、過去に経験したことの無いような大雨に見舞われ、高尾川および鷺田川(県管理区間)の沿川で多数の浸水被害が発生しました。

●降雨の概要

福岡県北部では、平成26年8月22日の未明から朝方にかけて、寒冷前線の南下に伴い発達した雨雲により局所的に猛烈な豪雨が発生。高尾川近傍の太宰府雨量観測所では最大1時間雨量が98.5mm(4時05分)になるなど、8月としては既往最大値を記録しました。



●被害状況 1426.8.22高尾川水道橋付近



一般被害の概要

出水年月日	平成26年8月22日
河川	高尾川
市町村	筑紫野市
浸水床下戸数(戸)	46
浸水床下戸数(戸)	46
計	92
浸水面積(ha)	7.4

平成26年8月22日洪水被害浸水区域(高尾川沿川)

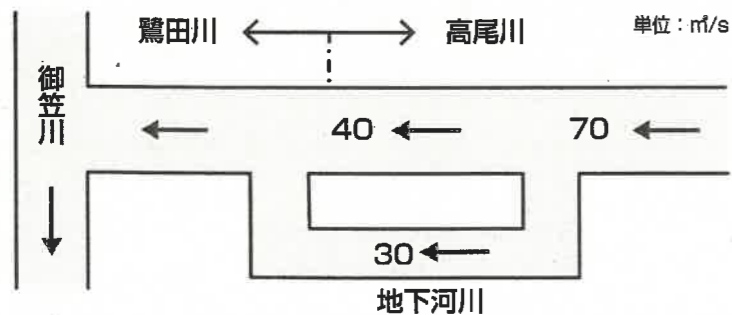


高尾川床上浸水対策特別緊急事業と整備効果

地下空間に、私たちの命と暮らしを守る新しい水の流が誕生します。この事業により高尾川流域の床上浸水被害は激減します。

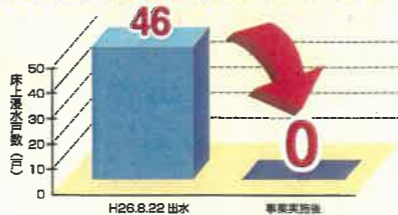
流量配分図

- 多数の浸水被害が発生した平成26年8月洪水と同程度の流量(70m³/s)のうち、30m³/sを地下河川に分派させ、高尾川を流れる流量を低減させます。
- 地下河川に分派した水は、下流で鷺田川へ合流させます。



高尾川床上浸水対策特別緊急事業の効果

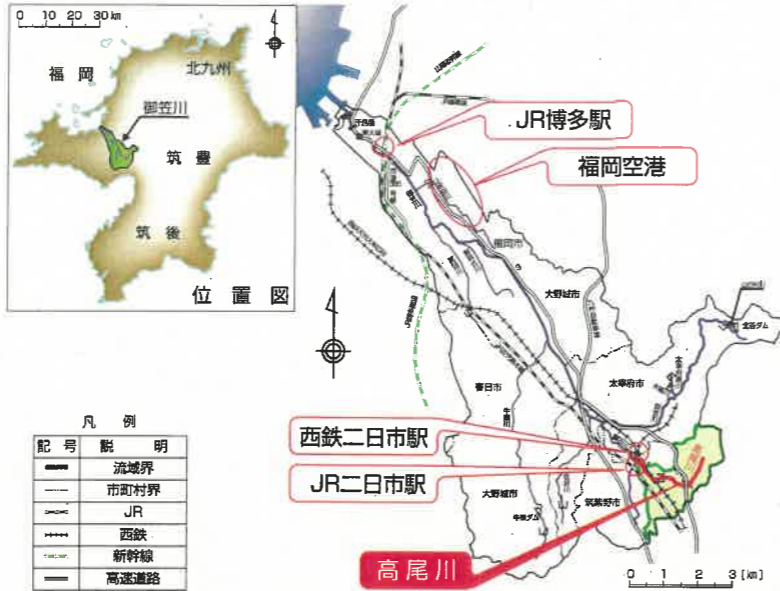
本事業により、平成26年8月22日の豪雨と同規模の洪水に対して、高尾川流域の床上浸水被害は激減します。



高尾川と流域の概要

- 河川名：二級河川御笠川水系高尾川
- 流路延長：1.5km
- 流域面積：4.4km²

高尾川は、福岡県の北西部を南北に流れる御笠川の二次支川で、その源を太宰府市の高雄山に発し、筑紫野市の中心市街部を流れ鶯田川へと合流する流路延長1.5km、流域面積4.4km²の二級河川です。流域近傍には西鉄二日市駅やJR二日市駅等の交通の要所があり、高尾川沿川には商店街や福岡県最古の酒蔵等からなる市街地が形成されています。



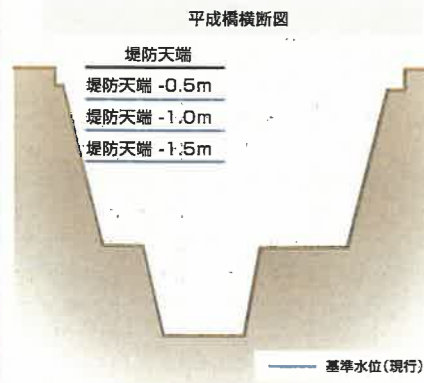
ご存知でしたか?

「もしも」の時にあなたや家族を守る防災情報!

福岡県は、携帯電話やインターネットを通じて福岡県内の河川に関する「雨量」や「水位」の情報をいち早く提供しており、高尾川のリアルタイム水位や監視カメラの画像も見ることができます。さらに、防災気象情報や避難勧告・指示などをメールでお知らせする「防災メールまもるくん」のサービスを提供しています。



河川監視カメラ画像(平成橋)



高尾川では、平成橋地点において水位が、堤防天端から-0.5m、-1.0m、-1.5mに達した際にサイレンを鳴らして、注意を呼びかけています。また、「防災メールまもるくん」でも基準水位に達した際、メールでお知らせをしています。



携帯電話

<http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/>

携帯はこちらから!



インターネット

○ 河川防災情報ホームページ
<http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>

○ 砂防課ホームページ
<http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/>



防災メールまもるくん

<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/mamorukun/>

※災害時等の情報をメールでお知らせします。
※ご利用には登録が必要です。

携帯はこちらから!



◎ 防災情報に関して
県土整備部 河川管理課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-643-3667 FAX:092-643-3669

◎ 床上浸水対策事業全般に関して
県土整備部 河川整備課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-643-3671 FAX:092-643-3687

◎ 高尾川床上浸水対策事業に関して
那珂県土整備事務所

〒816-0943 福岡県大野城市白木原3丁目5-25 筑紫総合庁舎
TEL:092-513-5568(河川砂防課) FAX:092-513-5606



R100